

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	建築計画 I (4405)	
科目基礎情報							
科目番号	3Z34			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	産業システム工学科環境都市・建築デザインコース			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	1		
教科書/教材	日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成（第3版）」丸善						
担当教員	馬渡 龍						
到達目標							
本科目の履修を通じて以下の目標に到達することが重要である。 1.建築計画・設計の手法一般について理解し説明できる。 2.文化・交流系の施設(例えば、美術館、博物館、図書館など)あるいは類似施設の計画について理解し説明できる。 3.医療・業務系の施設(例えば、オフィスビル、病院、オーデトリウム、宿泊施設等)あるいは類似施設の計画について理解し説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	建築計画・設計の手法一般について良く理解し説明できる。			建築計画・設計の手法一般について理解し説明できる。		建築計画・設計の手法一般について理解も説明もできない。	
評価項目2	文化・交流系の施設(例えば、美術館、博物館、図書館など)あるいは類似施設の計画について良く理解し説明できる。			文化・交流系の施設(例えば、美術館、博物館、図書館など)あるいは類似施設の計画について理解し説明できる。		文化・交流系の施設(例えば、美術館、博物館、図書館など)あるいは類似施設の計画について理解も説明もできない。	
評価項目3	医療・業務系の施設(例えば、オフィスビル、病院、オーデトリウム、宿泊施設等)あるいは類似施設の計画について良く理解し説明できる。			医療・業務系の施設(例えば、オフィスビル、病院、オーデトリウム、宿泊施設等)あるいは類似施設の計画について理解し説明できる。		医療・業務系の施設(例えば、オフィスビル、病院、オーデトリウム、宿泊施設等)あるいは類似施設の計画について理解も説明もできない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 DP3 専門知識の修得 地域志向 ○							
教育方法等							
概要	建築は「＜用・強・美＞の理が保たれるようつくるべき」という古代ローマの建築家ウィトルウィスによる有名な言葉がある。建築計画はとりわけ用に関する理論や知識をふまえ、強と美を統合する実践的な領域である。本科目の目標は、各種用途の基本的な建築計画知識・理論を理解し、その応用である建築作品がどう創られているか理解すること。各種用途と関連性の密接な制度や運営方法などいわゆるソフトへの理解をすることである。						
授業の進め方・方法	授業は教科書を基本に進め、板書とスライド（写真・図面）を用いて、各回異なる建築用途の計画手法について解説していく。また、適宜補足資料を配布する。						
注意点	・ 授業時は教科書を必ず準備し、ノートをとること ・ 試験・小テストは教科書の内容に加え授業にて解説した内容が含まれる ・ 自宅学習課題に取組み期限までに提出すること						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	建築概論：建築計画の基礎		単位空間、グルーピング、ゾーニングなど基礎的項目を理解する。		
		2週	住宅 1		住宅の建築計画における基礎的項目を理解する。		
		3週	住宅 2		事例を通じて住宅の建築計画における基礎的項目との関連を理解する。		
		4週	集合住宅 1		集合住宅の建築計画における基礎的項目を理解する。		
		5週	集合住宅 2		事例を通じて集合住宅の建築計画における基礎的項目との関連を理解する。		
		6週	保育所 1		保育所の建築計画における基礎的項目を理解する。		
		7週	保育所 2		事例を通じて保育所の建築計画における基礎的項目との関連を理解する。		
		8週	到達試験		7週までの授業内容の理解度の確認を行う。		
	2ndQ	9週	学校 1		学校の建築計画における基礎的項目を理解する。		
		10週	学校 2		事例を通じて学校の建築計画における基礎的項目との関連を理解する。		
		11週	図書館 1		図書館の建築計画における基礎的項目を理解する。		
		12週	図書館 2		事例を通じて図書館の建築計画における基礎的項目との関連を理解する。		
		13週	劇場 1		劇場の建築計画における基礎的項目を理解する。		
		14週	劇場 1		病院の建築計画における基礎的項目を理解する。		
		15週	事務所		事務所の建築計画における基礎的項目を理解する。		
		16週	到達試験		すべての授業内容の理解度の確認を行う。		
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					

	4thQ	8週		
		9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	モジュールについて説明できる。	3	前1,前8,前16
				建築設計に関わる基本的な家具をはじめとする住設備機器などの寸法を知っている。	3	前1,前8,前16
				居住系施設(例えば、独立住宅、集合住宅など)の計画について説明できる。	3	前2,前3,前4,前5,前8,前16
				教育や福祉系の施設(例えば、小学校、保育所、幼稚園、中・高・大学など)あるいは類似施設の計画について説明できる。	3	前6,前7,前8,前9,前10,前16
				文化・交流系の施設(例えば、美術館、博物館、図書館など)あるいは類似施設の計画について説明できる。	3	前11,前12,前16
				医療・業務系の施設(例えば、オフィスビル、病院、オーディトリウム、宿泊施設等)あるいは類似施設の計画について説明できる。	3	前13,前14,前15,前16
				建築計画・設計の手法一般について説明できる。	3	前1,前8,前16

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	95	0	0	0	0	5	100
基礎的能力	30	0	0	0	0	0	30
専門的能力	50	0	0	0	0	5	55
分野横断的能力	15	0	0	0	0	0	15